

別記様式

随 意 契 約 結 果 書

件 名 及 び 数 量	管内橋梁耐震補強設計業務
契約担当官等の氏名 並びに所属する部局 の名称及び所在地	分任支出負担行為担当官沖縄総合事務局 北部国道事務所長 高 良 保 英 (名護市大北4丁目28番34号)
契 約 締 結 日	平成17年11月 1日
契約の相手方の氏名 及び住所	大日本コンサルタント(株)沖縄事務所 沖縄県浦添市宮城5-12-11
契 約 金 額 (消費税及び地方 消費税含む)	29,925,000円
予 定 価 格 (消費税及び地方 消費税含む)	29,977,500円
随意契約によることと した理由	別紙のとおり
備 考	

- 注) 1. 公表対象随意契約が単価契約である場合には、契約金額欄に契約単価を記載するとともに、備考欄に単価契約である旨及び契約単価に予定調達数量を乗じた額を記載する。
2. 予定価格を公表しないこととした場合、予定価格の欄には「非公表」と記載する。

# 随 意 契 約 理 由 書

- 1 . 業 務 名 : 管内橋梁耐震補強設計業務
- 2 . 履 行 場 所 : 北部国道事務所
- 3 . 契 約 の 相 手 方 : 名称:大日本コンサルタント 株式会社 沖縄営業所  
住所:沖縄県浦添市宮城 5 - 1 2 - 1 1
- 4 . 随意契約適用法 : 会計法第 2 9 条の 3 第 4 項及び予決令第 1 0 2 条の 4 第 3 号
- 5 . 当該業務の目的・内容及び随意契約の理由

## ( 1 ) 目的・内容

本業務は、北部国道事務所管内の橋梁のうち、大地震発生の際に被災する恐れのある橋梁について震災による被害や被害拡大を未然に防ぎ、また緊急輸送路等を確保することを目的として橋梁の耐震補強設計を行うものである。

## ( 2 ) 理 由

本業務を遂行するためには、既設橋梁の耐震性能を適正に評価し、橋脚の耐震補強及び落橋防止システム設計に関する高度な知識と豊かな経験が必要であり、事前に配置予定技術者、業務の実施方針及び特定テーマの技術提案等を審査して、相手を特定するプロポーザル方式とする必要があった。

プロポーザル対象業務として、「建設コンサルタント選定委員会及びプロポーザル方式に基づく建設コンサルタント等の特定手続き」に基づき審議した結果、契約の相手方の提案は、優れた技術者を配置予定としているとともに実施方針に対する技術提案において、本業務の内容を十分理解し求める業務の必要性・重要性に対し満足する優れた設計を行えるものと高く評価された。

よって、大日本コンサルタント(株)沖縄営業所が本業務を遂行できる唯一の者であることから、会計法第 2 9 条の 3 第 4 項及び予決令第 1 0 2 条の 4 第 3 号に基づき随意契約を行うものである。